

評価問題例

【評価問題 1】

あなたは、「走れメロス」に登場した王ディオネスは悪者だと思いますか。悪者か悪者でないか、どちらかの立場に立って、下の条件に従ってその理由を書きなさい。

条 件

[条件1] 150字以上、200字以下で書くこと。

[条件2] 「悪人である」か「悪人ではない」の、どちらかの立場かを書くこと。

[条件3] 根拠として本文に書かれていることを2つ以上あげること。

【評価問題 2】

「走れメロス」のディベートで、相手方が主人公メロスについて、下のような立案をしました。

あなたは、どのようにこの立案の弱点を突いて相手の主張を攻めますか。条件に従って答えなさい。

相手の立案

メロスは善人である。なぜなら、王ディオネスが人を疑い、身内まで殺すことを許せなかったからだ。また、メロスは刑場にたどり着き、友情を貫いた。善人でなければこのような行動はとらない。

条 件

[条件1] 150字以上、200字以下で書くこと。

[条件2] 相手の根拠である2点について、反論を書くこと。

[条件3] 本文に書かれていることを根拠としてあげること。

評価問題のポイント

- どちらの問題も字数や根拠などの条件に従って書くことで、質の高い文章を書く力の育成を図る。
- 【評価問題 1】については、自分が決めた立場に立ち、根拠を明確にして論理的な文章を書く力を育てる。
- 【評価問題 2】については、相手の考えの根拠を正確に把握し、反論を書くことで、説得力のある文章を書く力を育てる。
- 様々な立場に立たせたり視点を持たせたりすることで、作品の主題についていっそう深く考えさせる。